Sexy and Stupid
Water Polo Comedy!!
14
こばやしひよこ
presented by HIYOKO KOBAYASHI

こばやしひよこ

presented by Hiyoko Kobayashi

CONTENTS

あは…
ハマジ君ジャムパン好きなんだ
でも
ジャムがおいしいのが
いいよねー
でしょー

第142投 萩原推し!!!

なんでもない・・・・
変なの

・・・・・・ま－・・
幸せだな－・・

!?
むず・
くしょんっ
大丈夫?カゼかな・・
ティッシュあるよ
サ・・サンキュ
誰かオレの噂でもしてんのかな・・・・
やだな-!
うっわーきったなー!・・・・
画像整理してたらハマジのポコチンが・・・・

あの時はつい調子に乗って写メったけど・・・・
・・・・・・
こんなの持ってると逆に運気が下がりそー
だいたいハマジのヤツなんで裸だったのか意味不明だし
そういえば先輩と二人きりだったのもなんで・・・・
先輩～～～♡やっぱ戻ってきちゃいましたぁ♡
!?

あ〜〜!!!
また思い出しちゃったよ・・・・!!
先輩ったら奥手のくせに大胆すぎなんだもん・・
はー・・
ま・・あたしは先輩のこと半分諦めてるけどさ
ぶっちゃけハマジのヤツがうらやましーわ
これも先輩の大切な初恋だもんね・・!
永遠に萩原推し!!!
相手があんな男でもしっかり応援しなきゃ!!
それにしても・・
なーんでハマジなのか・・

ああっ もうー こんなとこにいたんですかぁ
先輩ったら
ーツセンター
し…篠崎…
捜しましたよー!! いつの間にかいなくなっちゃうんだもん……
あっ ちょっと待って篠崎っ
あたし今……
着がえ…
待てませーん♡
篠崎っ
コラ!
ぎゅっ♡
まーたやってるよ… あの二人…
ほっとけほっとけ
せんぱ〜い
も〜

先輩‥‥安心してくださいね
あたしはいつでも味方ですから♡
な‥なんなの
そんなに抱きつかれると着替えらんないってば‥‥
もみ
いい加減離れて‥‥
あ‥‥
!!!
はらり…
ポロー…♥
漫画村

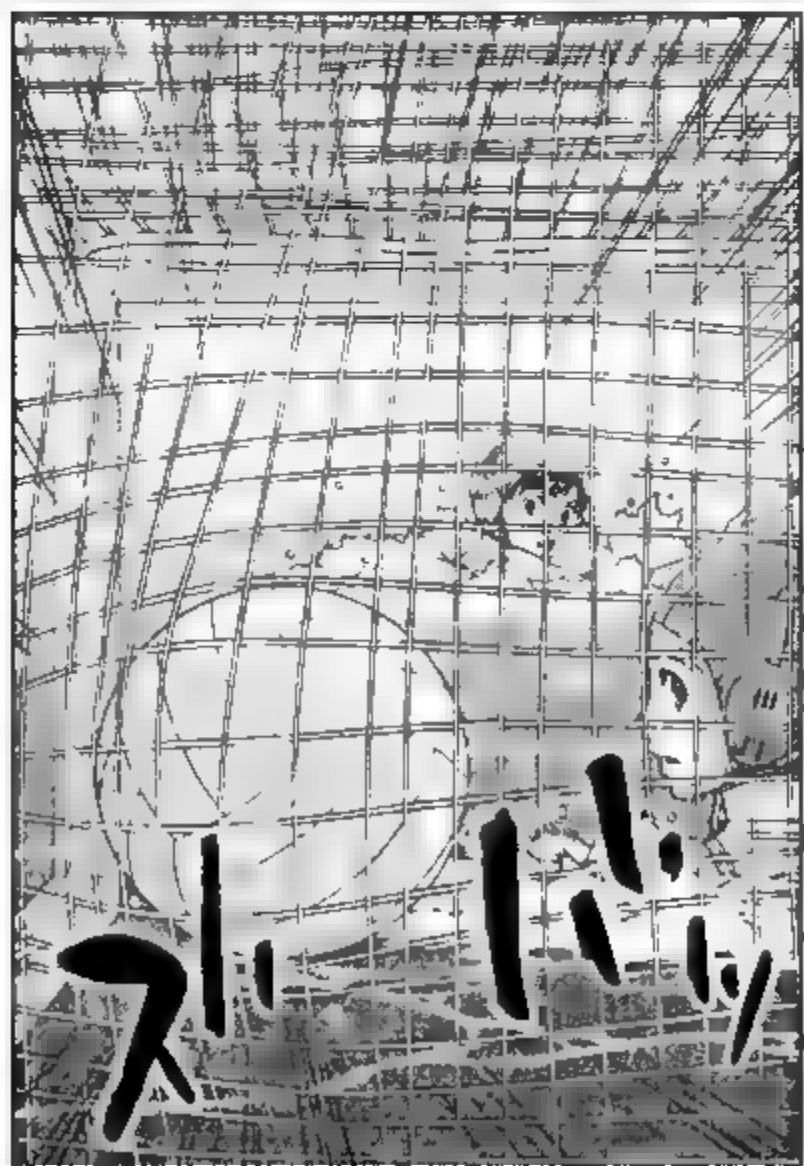
篠崎はどんだけ千聖が好きなんだ・・
まったくねー・・
わー!!!
すごっピンクの頂♡
美し~
やめてー
ホントですね・・

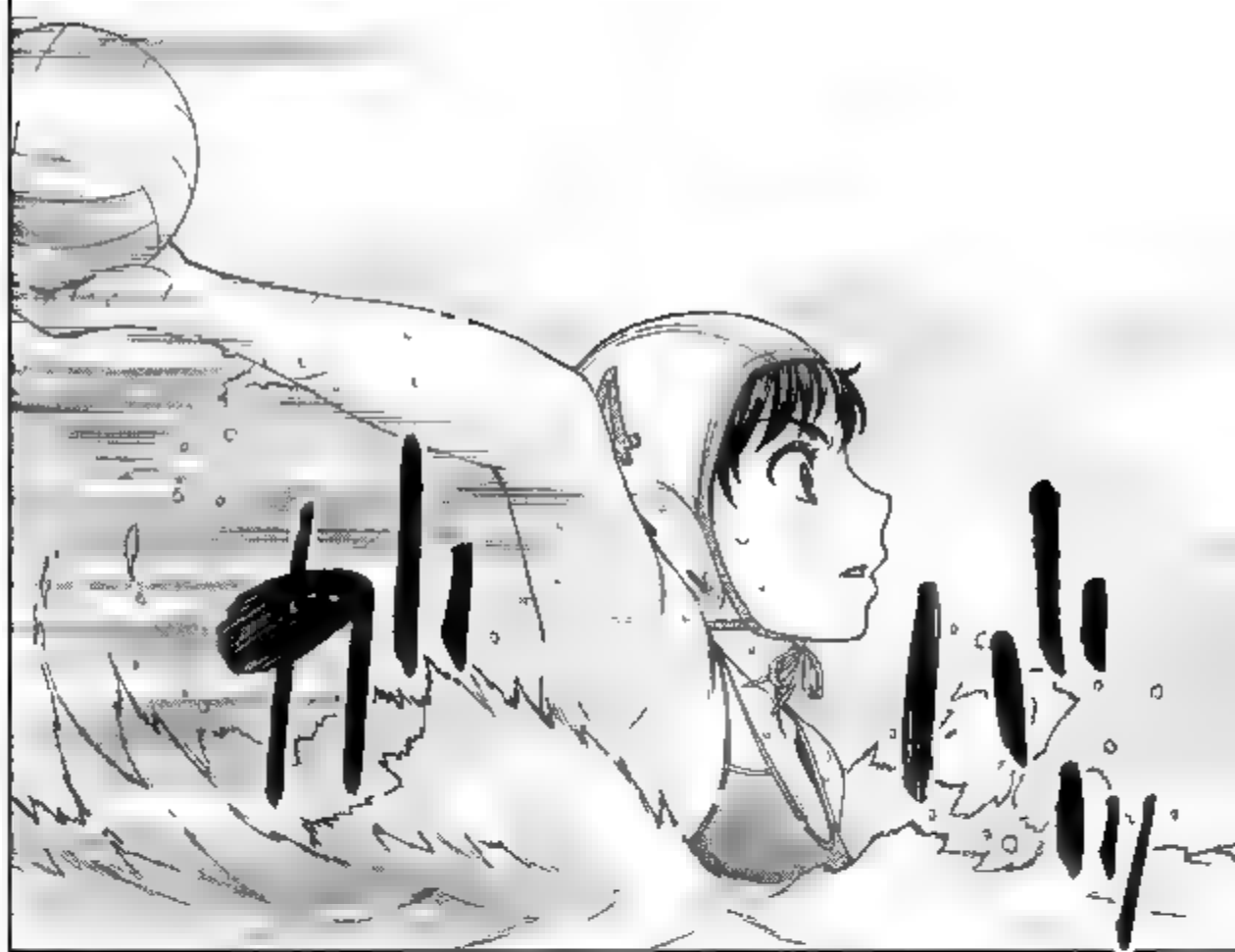
んだよ・・・美好先生はしばらく来れねーのかぁ・・
だよな・・
どーりで急に練習が面白くねぇと思ったぜ
ボーイ! おめー美好先生の役やれよー!
は!?
何を言ってんですか・・・

・・・・・
チラッ
・・・
や…やだ
あたし また…
?
いい加減ちゃんと
切り替えなきゃ!!

クイ…
なぁ 速水!
明日の朝は どう?
また一緒に 学校行けそう?
うん
多分 大丈夫…!

……
キュッ
さあっ
パス練
つき合ってよ
篠崎！
はいっ♡
喜んで！
つたく‥
ハマジのヤツ
先輩の気持ちも
知らんで
イチャつきやがって‥
篠崎ー
何してんの！
すっ
すいません

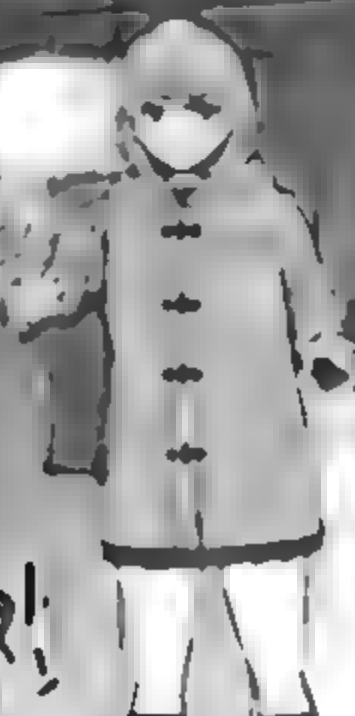
じゃあ
お先に失礼します！
たたっ
グいッ
ズいばッ

ヒュ――ッ
萩原もケガから復帰して
しばらく不調だったが…
すっかり元に戻ったじゃ
ねーか・・・・
はい・・・・
やっぱり先輩は
かっこいいな
…
12
そういえば
・・・・
ハマジって先輩に
一目惚れして
入部したんじゃん
っていうか・
あの顔・・・・
先輩に見惚れ
ちゃってる・・？
こいつ
まだ先輩のこと・・

バリッ
カッ
も・・もう・・っ
カ！
ス
あ・・・・
あっ！

先輩っ 肩!
また肩を痛めたんですか!?
ハマジ君‥
肩‥?

なんだ?
あのさ・・
町スポーツセ
たまには あたしと
一緒に帰らない・・?
はあ!?
ハマジの
本当の気持ち・・
確かめてやる
・・・・!
第142投・END

藤崎がオレと・・
一緒に帰りたい・・!?
いきなりなんで・・?
な・・なんでって・・
やっぱ一人じゃ寂しいしー
きゅ～ん♡
ハマジと帰りたいって思っちゃいけない?
フーン・・・・
第143話
気づいてたんでしょ!

悪いが断る・・・!!
えーっ
ちょっ ちょっと 待ちなさいよっ
ズシーン
ズシーーン
ズ!!

なんだよっ
かわいい女子のお願い断んな!!

うさんくせえ
篠崎のヤツなんのつもりか知んねーけど…

これは絶対に関わっちゃいけねー気がする!!!

くっそ〜〜〜!!
失敗した…!

どうしたの？篠崎……

あっ 先輩・・・!
今ハマジ君がいたみたいだけど・・
ああ・・・ ハイ・・・
?
・・
じぃーっ
あ・・あの・・ 何か・・?
アンタ 余計なこと話してないでしょうね!?
ずいっ
余計なことって・・

何度もいうけど
あれは
じっ 人工呼吸
だから!!

彼女持ちにそんなこと言えるわけないじゃないスか・・・・

ねー千聖ー 何の話？ 人工呼吸？

なんでもないって

あたしはただ・・・・ハマジの本当の気持ちが知りたいだけ・・・・

キーンコーンーン・・

えーと・・

部活は室内で陸トレだっけ・・・

ふぅ～っ・・
あー・ウエイトは気が重いな！・・
!?
ニッコ
ニコ
し・・篠崎・・・・
まただか・・

部活でしょ？あたしもこれから行くトコ・・・
あっそ・なんなんだよ昨日から気味悪ィぞ
またつきまとう気か・・？
ねぇ・・・水球部に入ってどれくらい経つんだっけ？
オレ？えーと・・半年以上にはなるけど・
ハマジって・・確か萩原先輩に一目惚れして入部したんだよね
それは篠崎も似たよーなもんだろ
そんなハマジがさぁ
いつの間にやら違う女の子とつき合ってるなんてビックリ！
余計なお世話だ!!
オレが先輩にフラれてんの知ってるだろ！
でもホントは・

先輩のこと
今でも好きなん
じゃない・・？
は⁉ 何言ってん
だよ お前
バカじゃね
今のオレは
速水が好きに
決まってんだろが
じゃーなっ！
あーっ

うそつき！
いっつも先輩ばっか
見てるくせに！
それって今でも
好きなんじゃ
ないの！
しっけーな
オレは速水しか
見てねぇ！
だッ
……
本当のこと
言わないとコレ
バラまくから！

あーっ
やだねー
おーっと!
そ…
それ…消せよ!
消せったら!!
ちょ…

ムギュッ
あ……
キッ
どこ触ってんのよっ!!

いててて
このヘンタイ!!どさくさに紛れて何してくれてんの!
それでいつでもどこでもボッキしてんのね!
この時だって・・・!!
ちっ違うって・・・・
それにあの時は・・・・あんなことされて・・・・
いやっ・・でも・・さすがに言えねえ・・・・!
あんなこと・・?
・・・・!
あ・・・

わかった!!!
ハマジ あの時
気づいてたんでしょ！
アンタに先輩が
キスしてたの・・・・!!
え・・・・？
あ・・あれ・・？
・・・・

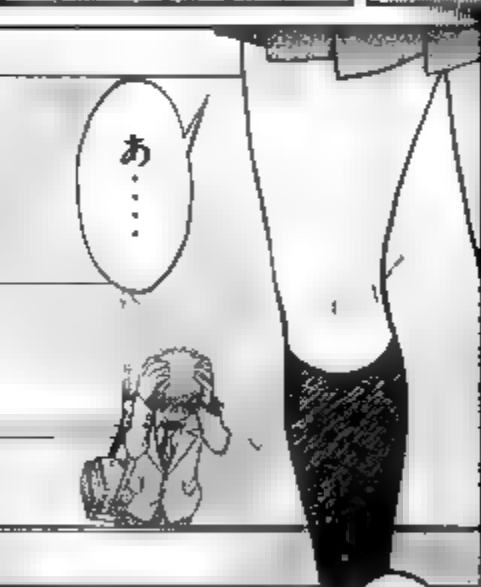
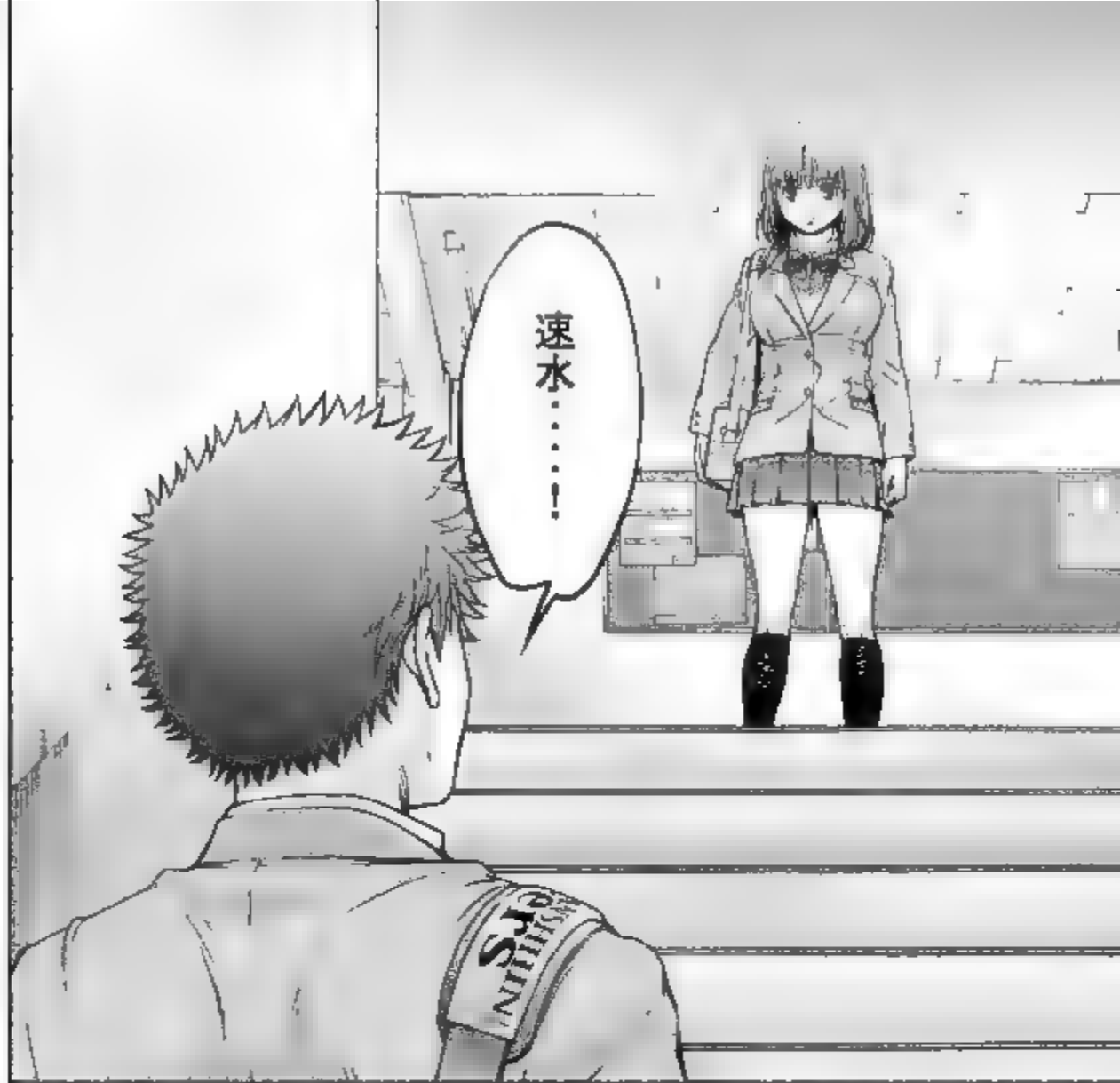
先輩がオレに・・
なん・・だって？
えっ
あ・・あの・・もしかして・・
やっぱ気絶してたの・・・？
だからそう言ってるだろ
あああ‥
いっ今のナシ！ナシだから!!
・・・
ナシ!!!
おいっ篠崎!!

どうしよ・・・
先輩からあんなに
口止めされてたのに・・
言っちゃった
・・・・
・・・・・・
せ・・
先輩がオレに・・
キス・・・・?
第143投 END

ちょっと待て…
落ち着いて考えろ
聞き間違いかもしれねえし
の言葉をもう一度思い返すんだ…
144 不意打ちだよ…!
スー…
ハー…!
よし…!!
わかった!!!
ハマジあの時気づいてたんでしょ!
アンタに先輩がキスしてたの…!!

確かにキス
してたたって……
言ってた……

そもそもオレはフラれてるし‥先輩がオレにキスなんてするはず‥
篠崎がオレをからかってるんじゃ‥‥
‥‥
だって‥‥ありえねえし
けど‥‥
もし‥‥本当だったとしたら‥‥
あ‥‥
ハマジ君!

速水……！
何してるの？これから部活でしょ!?
……

そうだ！
今日はお父さんの
帰りが遅いの
だから練習
最後まで
いれるんだ
えっ
久々に一緒に
帰れるね！
へぇ・・・
そうなんだ・・
よ・
よかった・・
楽しみ♡
わー・・♥
やべえ・・
オレが何かしたって
わけじゃないのに・・
すっげー
罪悪感・・・・

カチャ
うい～っす・・
遅いぞボーイ!!
もうとっくに
ウエイト始めてるから
早く来いよ
あ・・
はい・・・・
!!!

うわ～～～
何あれ・・・・・
・・・
あいつ・・・・
めちゃくちゃ様子
おかしくなってる
・・・!!
ボ－－・・・
キスのこと話したの・・
先輩にバレしたら
どうしよ・・・・
ホラ!・篠崎
さぼってないで!・
はっ はい
フン!・
グイ

じーーー…
ダメ…！
集中ー！
集中…‼
おいっハマジ！
何やってんだよ‼
…
先輩……
オレは……
…

やばいよ・・・・
ずっと自分の気持ちに
フタをしていたのに・・・・

何・・・・？
ハマジ君 なんで ずっと あたしのこと 見てるんだろ・・・・
・・・ねえ 篠崎！
まさかと 思うけど・・・・ ハマジ君に
はい!?
ハマ・・の様子が 変すぎて先輩が 何かに気づいてる!!
あ・・あたしは 別に何も言って ないスよ
さっ 腹筋しよ
ホント かなー・・・
せ・・ 先輩・・・・

くーーっ
ふあ
ガリ
ハマジ君!
ブーーーッ
いってて
はっ 速水!? 何すんだよ
今…ずっと萩原先輩のこと見てたでしょ
すぐわかったもん…
え…マジで!?
そんな見てた?
見てた!

先輩がオレにキスなんて・・・・あるわけねえじゃん・・

いててて

ぎゅっ

そんなに強くしてないよ？

えっ そう だよね・・・・ ははは・・

ねえ あそこのベンチに座ろ？

おう・・・・

こうして二人で帰りにゆっくりするの久しぶりだね！
うん・・・・
あのね・・・最近お父さん門限にうるさくなくなってきてるかも・・・
ずっと玄関であたしが帰るの待ってたんだけど
あ・・お父さん・・ただいま・・
最近はそういうのもなくて・・
今日だって帰り遅いし
って・・
・・・・
ハマジ君！？聞いてる？・
えっ
あ・・悪イ！・

ねえ今・・・
また萩原先輩のこと
考えてたんじゃない？
いやっ
図星っ★
そんな・・・
ないって！
絶対ないって!!
だって・・・
今日のハマジ君
変だもん
そ・・・そう
かな・・・
今日は朝から
ずっと眠くてさ・・・
本当・・・？
本当！
じゃあ・・
いいけど・・
ホッ
スー・・

チュッ
……!?
速水・・？

へへ……
不意打ちだよ……!
……!
速水って…やっぱかわええな~~……
ねえハマジ君…明日ウチに来ない?
えっ
久々に……二人っきりになりたいな…
はあ!?
家って…そりゃまずいだろ!!!
第144投 END

ハマジ君早く…

…ううん

第145話 着替えてくるね

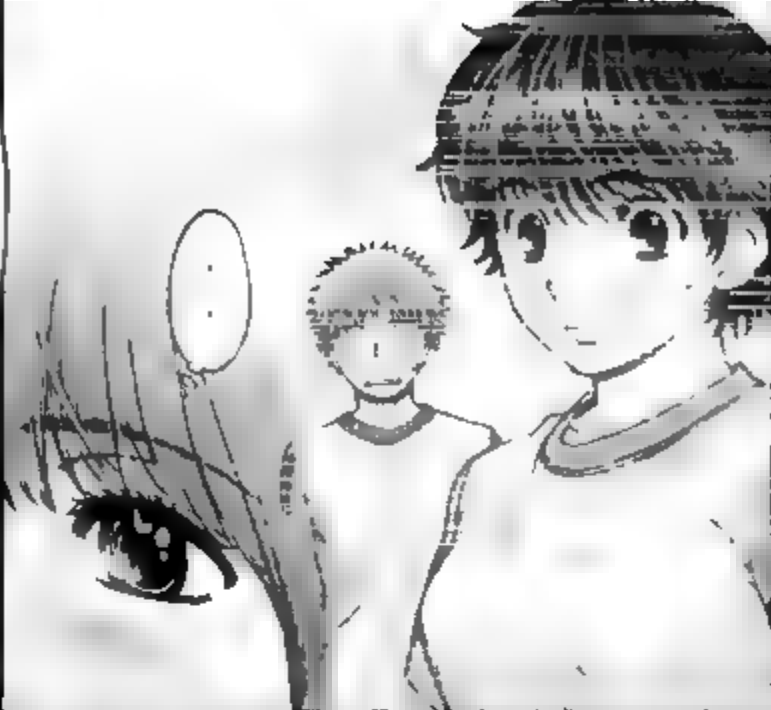
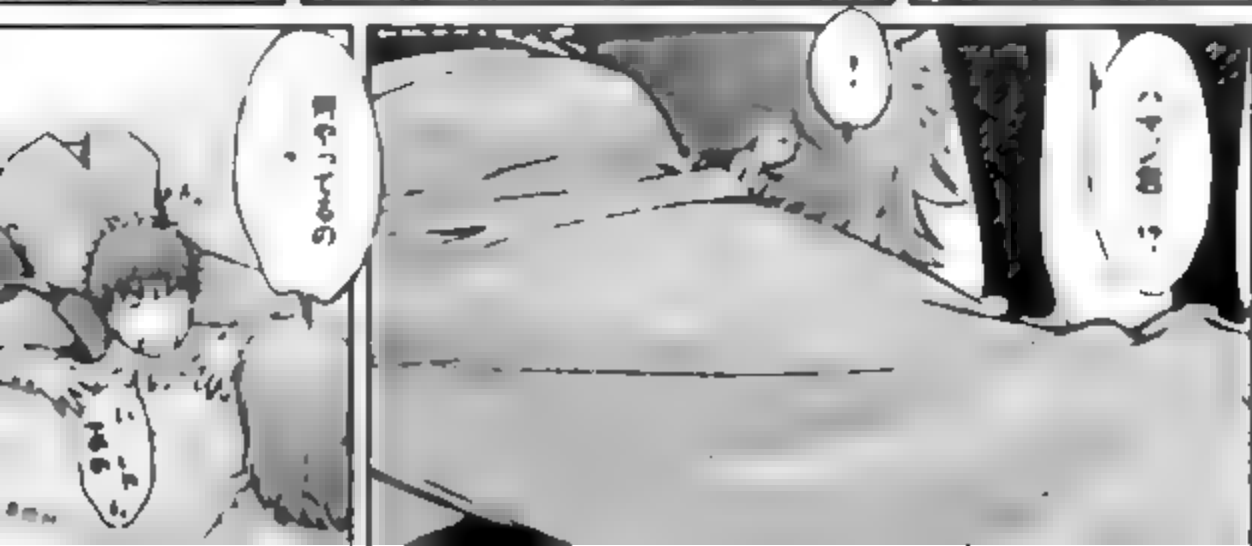
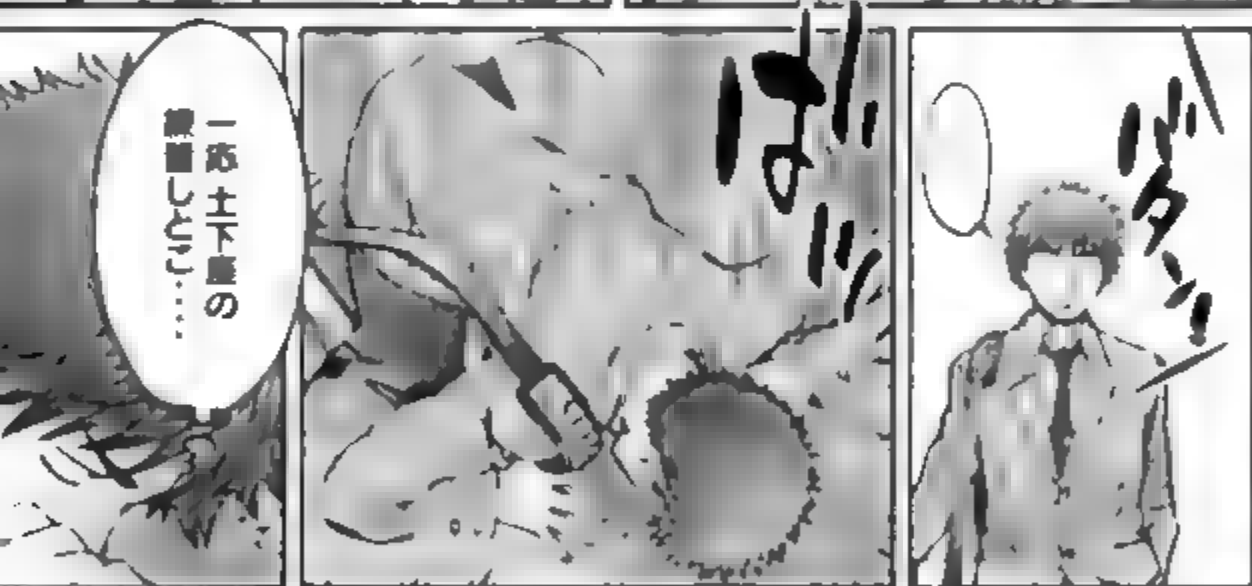
それが大丈夫なの
お父さん明日は出張で帰らないんだって…
え…
出張……
そうだっ
弟とお母さんいるじゃん！
ムふっ
なんと お母さんと翼太は おばあちゃん家へ 行くって！
おばあちゃん家 行くといつも 泊まりになるから

・・・
ハマジ君・・・・
お願い・・・・
久しぶりに二人で
こしたいの・・・・
速水・・・・

あー…結局来てしまった…
弱すぎるオレ…
早く入ろっ！
ぐいっ
ちょっ
ちょっと待った!!
もう
なあに？
泊まりと思わせて
油断させといて！
実は家のどこかに
隠れてるんじゃ!?
家でなくても
その電柱のカゲ～
怪しい!!

ハイ！
いませーん!!
そんなに心配なら家の中 見てきてあげる
待ってて・・
うん・・
バターン!
一応 土下座の練習しとこ・・・・
ハマノ君!?
!・
何やってるの
いや まあ・・

今日は誰もいないし
リビングでテレビでも
観ようよ
今 お茶
入れるから・・・・
おう・・・・
これが
リモコンかな？
この赤いのが
電源か・・・・
？
つかねーな
ウィーン
ポチ
これか!?
こっちかな？
ポチ
ポチ
あっ ゴメン！
それDVDの
リモコン
テレビは
こっち

こちょ
こちょ
こちょ
こちょ
やぁーん
やめてぇーー
あーっ

や…やだ
ハマジ君は何か観たい映画とかある？
DVDある
こんなのばっか観てるんだからもう！
映画…？
な…なんでもいい…
ん？
これ…水球部の…？
旧都高水球
試合（女子）
あ…それね
これまでの部の試合をムービーで録ってDVDにしたんだって

男子のもあるでしょ？
え・・・そっそーいやもらったな・・・・
どこいったかな
い・・・い・・・
一度も観てね――!!!
だってヤローばっかでおもしくないんだもん

ウチは女子のほうがうまいしちょっと観てみたいかも・・・・
これ観ていい？
うん！

旧都高
試合（女
・・・・・・

水球部女子の試合・・・・
あ・・あの・・・・
あのね・・・・あたしやっぱり別のDVたいな・・・・

え・・・・

そりゃ・・・・・
いいけど

・・じゃあこれ
イタリア代表の
DVDがいいよ!・

ピッ

?

おう

じゃあ
それ観るか

すす…
……
!
嬉しい…
久しぶりに二人で
ゆっくりいられるんだ…

ハマジ君・・
あの・・
制服
着替えてくるね
あ・・
うん・・・・
DVD
止めとく？
そのまま
観てていいよ！
・・・

うへー！
こんなのとやったら絶対死ぬな・・・
どう？イタリアって水球強いんだね
あー・・・
プロリーグがあるからな・・・
!?

・・・・なあに？
ジロジロ見て・・・・

いや・・・
あの・・・・
隣に座っても・・・・
いいかな・・・？
第145投 END

なんか速水・・
すげーエロい・・
ど・・
どうしたの？
DVD観ようよ
ぎゅ・・
第146投　穿いてないの・・

え…
オフ会から
ずっと観てるじゃん
DVD・・・・

なんだ…？
こんな格好していったい…
速水はどうしたいんだ…
ブォオオ…
びくっ
なあ…今の
もしかして誰か帰って来てない？
も～…ただのトラックの音だよ
そ…そっか…
くっそー…落ち着かねー…
あのさ…別のDVD観ない？
なんかこう…お笑いとかパーッと明るいヤツ
お笑い？

お笑いなら
弟のがあるかも・・
おう
そっちじゃなくて
逆のほう・・
テレビの
左側
左？
そう
その辺
DVD置いて
あるでしょ？
ちょっ・・・

じぃ
!?
こ・・これは・・・・!!
あっ
ぱっ
DVDってこれかなー?
ぱっ
・・・・
ぱっ
わ!
あっ
あわわ・・
悪ィ・・落としちゃった・

あ・・あの・・・やっぱ・・・・

外に行かねぇ？なんかそーゆー気分・・

外・・・？

ぐいっ

行こうぜ！

外 行きたくない・・
・・・・速水!?
そだっ ケーキあるよ! 食べる?
ガタ・・・

・・・!
わ・・・
こめ・・
速水
大丈夫?
危ねぇ!・・
うん・・・・
・・
ハマジ君・・
あたし・・

今日は・・・頑張るから・・・！

・・？
頑張る・・って？
だって・・・・
あの、ホテルで・・
あたしのせいでうまくいかなかったから・・
だから今日は・・絶対一緒にいたかったの・・
ホテル・・!?

ハマジ君・・
さっき気がついたでしょ!?
ガバッ
な・・何?
あたし・・
今
穿いてないの・・
は!?
スッ

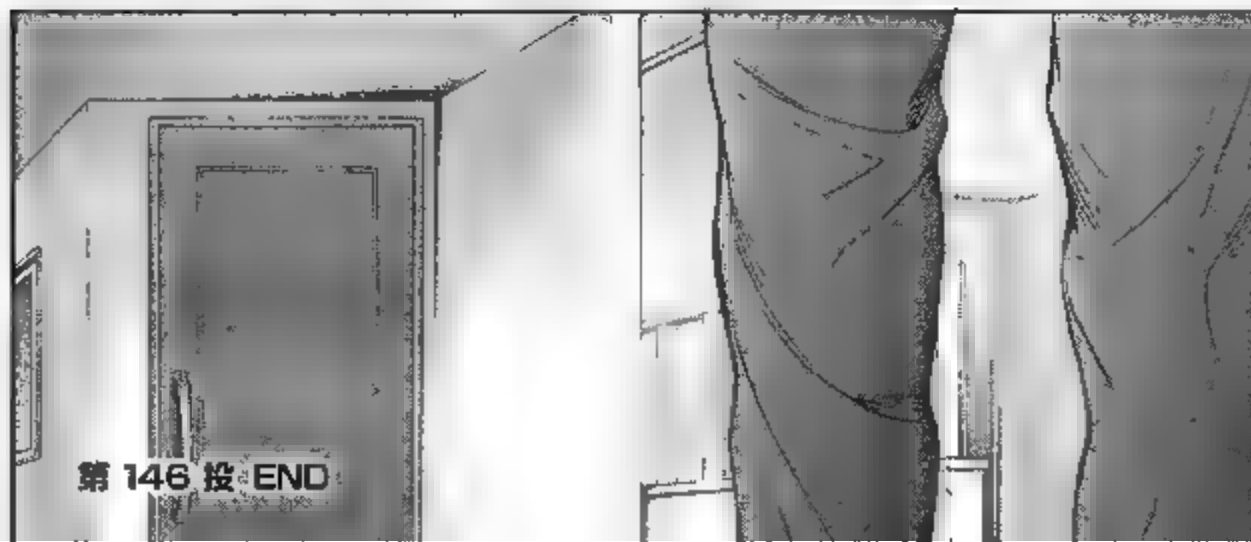
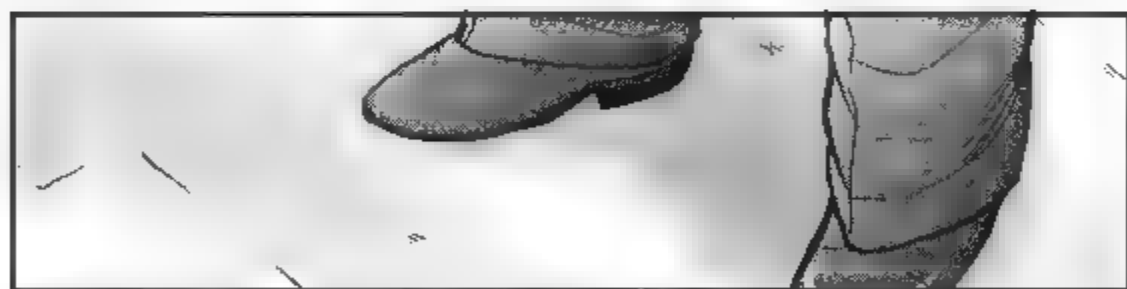
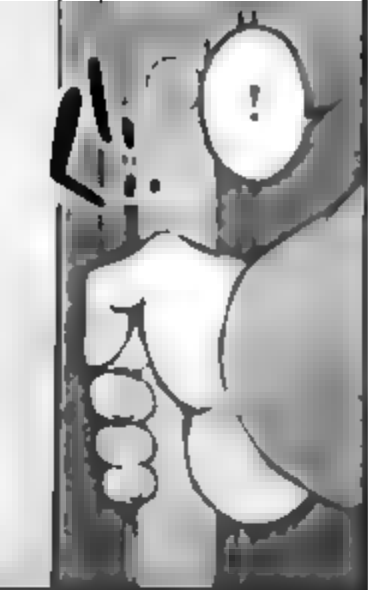
ちょっ・・
こんなトコ見られたら・・
今日は大丈夫だって言ったじゃない・・
だって・・
いや・・・やばいって・・

ハマジ君・・・・
・・・・・・

あたし・・
今日は絶対痛いって言わないから
速水・・
本当にいいの・・？
うん・・・・

速水・・・!!
第146投 END

第147投
体の・・準備がまだ・・
ハマジ君・・・・
キスして
え？
ギュッ
う・・うん・・・・

!
ちょっ
ちょっと待て
速水っ
ハマノ君は
じっとしてて

自分で脱ぐって！
なっ？手を離せ
いいの！
ハマジ君は何もしなくていいの…
今日はあたしが頑張るんだから
……
!?

わっ
ギ…
なんか わかん ねーけど・・・・
恥ずかしー…
あの・・
あたし・・
勉強したの・・・！
えっ？

おうっ
こ・これで・・
いいのかな・・
ハマジ君どう？
これって気持ちいいの？
そりゃあーた・・・・

もっとかな・・・・
ふぉおおおお
ちょっ・・・ストップ！
オレ・・もう入れたい！
！
ま・・待って・・
まだダメ！
えっなんで!?
だって・・・・あの・・あたしの・・

体の準備・・
出来てないんだもん・・・・
わかったよ じゃあとりあえず入れてからでもいい？
!?
えー・・

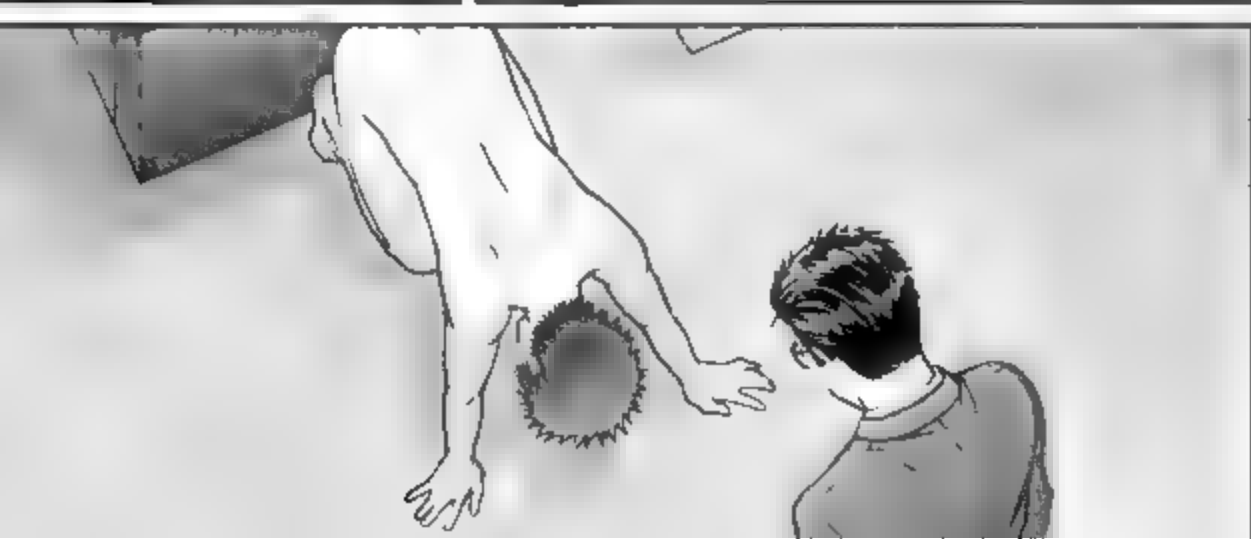
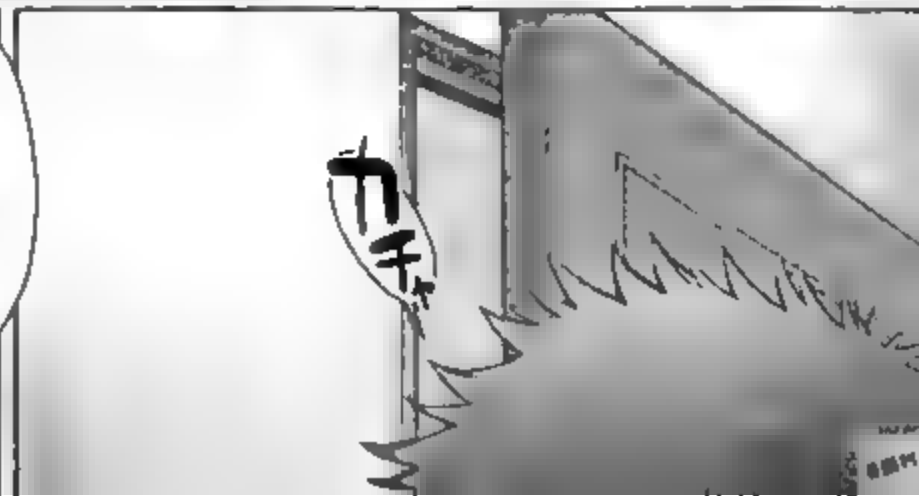
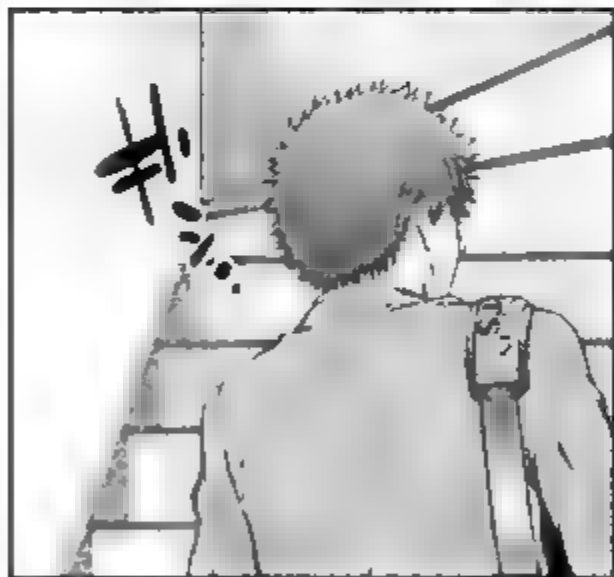
？
どうかした・・？
……
後ろ・・？

お父さん‥‥
どうして‥‥
お・・お父・・
急遽予定が
変更になって出張が
なくなったんだ・・
だが そんな
ことより・
・・・
あ あの・・

お前が
ハマジか……

ごっ
ごめんなさい!!!

今すぐここから
出ていけ!!
二度と娘に
会うな・・・!

あら～
洋平
おかえり‥
ねぇ！帰る時
連絡してって
言ってるでしょ
ご飯は？
ギシッ‥
……いらね‥
カチャ
学校で何か
あった‥？
バターン！

やばい‥
とうとう
やっちまった‥‥
だって‥今日は
出張だったんじゃ
なかったのかよ‥‥

どうしよう・・・・
あたしのせいだ・・・・
第147投 END

お前がハマジか‥‥
オレのいない間に娘にとんでもないことをしてくれたな‥‥
二度と使えんようにお前のその薄汚いタマ袋を握り潰してやる
まっ 待って‥‥オレまだちゃんと入れてな‥‥
あっ
第148投 キズつけちゃった‥‥

!
わあああ
はっ
ゆ・・・夢か・・・・・

……既読スルーか…
昨夜からずっと透水にメールしてるけど・・・返信こない・・・・
あれからさらに怒られてるとか・・・・
はァ・・
まいったな・・
二度と娘に会うな・・！
オレ達・・・・どうなっちゃうんだろ・・・・

キーンコーンカーン
昼になったけど
やっぱり返信
ないな
まさか今日
休みとか・・・
直接行って
みるか・・・・
・・・

……
えーっと
とりあえず速水が学校にいてホッとした…
あの…昨夜はあれから大丈夫だった？

うん・・・ でも あたしが 全部悪いから・
あたしが ハマジ君を家に 誘ったから・・・・
ごめんなさい・・
速水・・
でっ でもさ! お父さんだって学校に 行くなって言わないだろ
オレ達は これまで通りで いいじゃん?
・・うん・・・・

そう・・・・
だよね・・・・
あたし・・・・
もう教室に
戻るね・・・
どうしたの？

速水には会えたけど
口数少なくて
空気が重いっつーか・・
オレがなんとか
励まさないと・・・・!!
ズバン!!
うん
おお
さっすが!!

でも・・・
ちょっと元気ない
みたいだけど・・

速水・・

大丈夫かな・・

パシャ

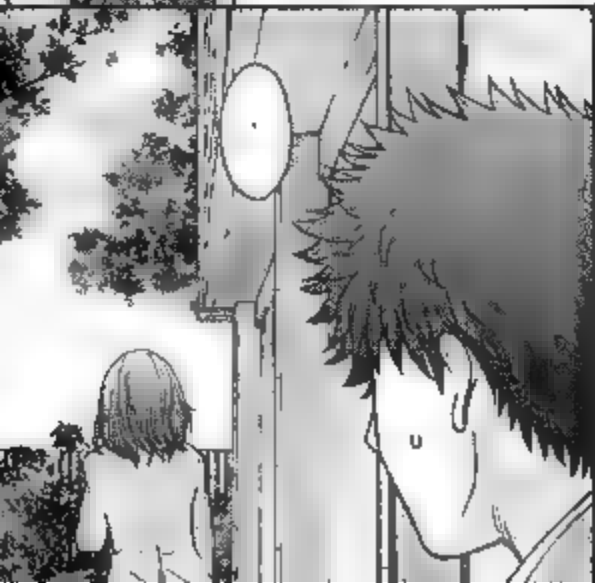
ザッ

スッ
スッ
スッ

いい‥♡
うぉぉぉ‥
水球
最高じゃあ‥!!!

ちょっと!! 男子は何やってんの!!
まじめに練習しなさーい!!
?
ザッ
ザッ
ザッ
ザッ
ザッ
ザッ
中島さん達・・何やってんスか・・
萩原先輩・・・・
どうかした・・?
あの・・

少し早いんですけど・・今日はもう早退させてください・・!!
え・もう!?
ごめんなさい!
ペコー
ちょっと待って!
速水ちゃん!!
速水・・!

速水ちゃん いったい どうしたんだ!?
さあ・・
なあ・・ どうしたんだよ・・
門限がもっと早くなったとか・・?
練習はまだ半分も進んでないじゃん・・
わかった・・! やっぱりあれからお父さんにいろいろ言われたんだろ!?
何も・・・・
何も言われてないよ・・・・

何も言わないけど・・
でも あれからずっと
悲しそうにしてる・・
全部あたしの
せい・・・・
あたし・・・
お父さんを
キズつけちゃった・・
・・・・

……

翌日

おはよう!

ウッス!

ふお!

先生……
よ、おうっ
速水か！　おはよう……　どうしたんだ!?
あの……
……っ
あたし……
第148話
END

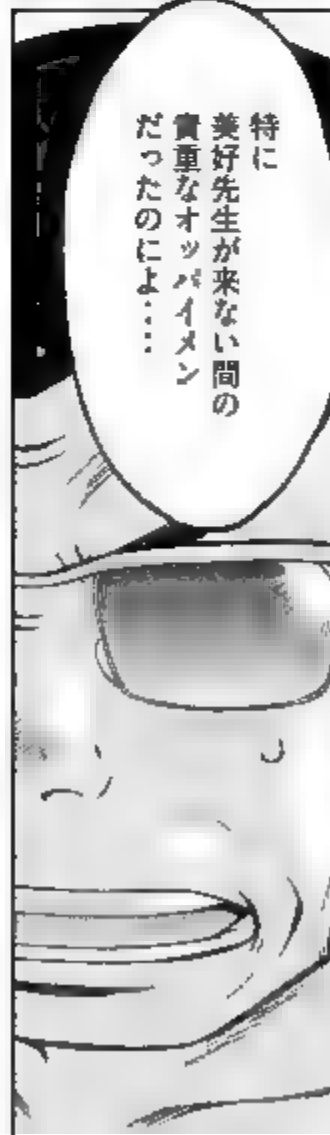
おい
ハマジ!
第149投 嫌な予感
ちょっと
ツラ貸せ
はあ
でも…
これから部活…
いいから来いっ
てんだよ!!

…速水が今日退部届を出してきた……
部活動退部届
水球
一身上の都合により
はっ!?
速水が退部って

あっ あの・・
理由は
なんですか!?
これには
「一身上の都合により」
としか書かれてないが
じゃあ お前も
知らされてなかった
んだな
本人の口
からは
もっと・・
勉強に集中したく
なったんです・・・・
・・・・・・

お父さんをキズつけちゃった・・
まいったぜ、何があったんだろなぁ、
あいつは貴重な次期エース候補なのに・・
水球も楽しそうにやってたように見えたがな・
オッパイだってでかかったしな
って・・
ハマジがいねえ!?

速水・・・
まだ学校に
いるかな・・・・
いない・・・!!
クソ・・・!
もう帰っちまった
のか・・・・
・・・

はっ
速水ちゃんが
退部だとォ!?
ねえ
マジ?
千夏は
知ってたの?
ううん
ごちゃごちゃ
うるせーな!
残念ながらそういう
ことになったんだよ~
これで報告は
終わりだ!
メニューに従って
練習を始めてくれ
うーむ
これは
一大事だぜぇ~
ストレッチは
入念にな!
ウソだろ・・・
速水・・・
特に
美好先生が来ない間の
貴重なオッパイメン
だったのによ・・・

諸君！これは
我が軍にとって深刻な
オッパイ不足である!!
オッパイ!!!
巨乳を我等にっ
巨乳っ
オッパイ!!!
巨乳っ
オッパイさえあればなんにもいらないっ
男ってのはホント
失礼っスねー
オッパイなら
あたしだって
そこそこある
じゃん！
ぽよん
篠崎！！
ポカッ
てへっ
でもこれで
女子は戦力
ダウンだね・・
いきなりで
びっくりしたよ
うん・・・

確かに・・・・
練習中
元気がないのは
気になってたん
だけどね・・・・
勉強か・・・・
どこか入りたい大学が
出来たとかかな・・・
いやいやいやいや!・
これはハマジと
何かあったんじゃ
ないかと
思いますけどねぇ・・
篠崎・・・・
そういうのを
邪推って言うの!
あ・・
しっ失礼
しました・・
まったく
もー
そういやボーイ
まだ来ねぇのか
あいつには
聞きてえことが
山ほどあるってのに
・・・・!!
あの・・・
遅れてスンマセン・
・・

いやー ちょっと所用があリまして・・・
ハマジ!?
ハーマージーっ
どどどどどどっ
なんでっ!? なんでいきなりこんなことするんスか~~~!!
うるせえ!
これから速水の件で強制尋問を開始する!!
正直に答えるように!
は!?

グイッ
……

今日はひでー目に遭ったな
いきなり尋問とかされても
オレだって速水がいったい何を考えてんのか知りたいくらいだよ
はー…めっちゃボール避けるの大変だった
とにかく絶対速水ちゃんを連れ戻して来いっ!!
ヒィィ

やっぱ返信
全然ないな・・・
電話にも出ないし

速水、いったい
どうしちまってるんだ・・・

やっぱ・・・
お父さんかな
かといって もう直接
家には行けねえし

明日学校で
会って聞く
しかねえ・・・

速水・・・

・・・
あの ハマジ君
えっ
あ・・あっ!!
速水・・・・

退部の話…先生から聞いた…

驚いたよ…

返事 全然 くれないしさ

ごめん…

嫌な予感がした…

お いや

あの…

やっぱ…お父さんが…？

あのね…
話があるの…

速水・・？
ハマジ君と・・
しばらく距離を置かせて欲しくて・・
！
第149投 END

150
説得
速水・・・・?
距離を置きたいって・・
それって・・・・

意味わかんねえよ
オレ達 ケンカも
したことないじゃん・・
・・・・・・
お父さんに・・
言われたの？・
違うよ・・・・

あたしのせいで
ハマジ君にもお父さんにも
迷惑かけちゃったから・・・
ずっと考えてたけど・・
どうしたらいいか
わからなかった・・
そんなこと・・
な・・何言ってんだよ！
速水は考えすぎだって
ってか
オレは全然
気にしてねーし！
ハマジ君・・
少し時間を
置きたいの・・
・・・・！

お願い・・・・
速水・・

ゴトン…
ゴトン…
いて…
あっ
おせーぞ！
今すぐプールに来い！
さっさと来い！
秒で来い！
やっべ……
中島さんだ…
……

速水の涙を見た時 オレはとにかく何か 言わなくちゃって・・
あの瞬間 いろんな言葉が 頭の中をぐるぐる 回ったけど・・・・
オレは・・・・
結局 何も 言えなかった・・
なんで・・ こんなことになった・・?
ただ悪い夢を 見ているみたいに現実味がなくて・・

なあ・・
速水の退部さ・・
どう思う？
どうって・・
そりゃ・・・・
やっぱあいつら
別れたんだろうよ
だから速水は
退部したんだろ
そう考えるのが
自然じゃねーか
あー！
やべ・・

まっこれでボーイもリア充じゃなくなったわけだよな・・
おっ
そいつはめでてーな！
イェーイ
パーン
何言ってんだか・・・
バカ・・
ねっ先輩！
あたしが言った通りでしょ！
何かあったんスよあの二人
うれしそーに言わないの！
ったく・・
まぁもう・・・女子まで・・
ねぇねぇどう思う？
あやしいねー
浮気だね！
どっちがよーだってだいたいつり合ってなかったし！
うわー
この中に入りたくねー・・

チィーッス！
いやー……
遅くなりました・
ガラ・・
おっ ボーイのヤツ
やっと来やがったぜ！
おい！早く
こっちに来いや！
あ
リア充終了
おめ!!
速水と
別れたんだろ？
いったい何が
あったんだよ！
聞かせろ!!
あたしも
知りたーい
結局
速水ちゃんとは
どこまで
いってたの!?
あのー・

ま・別れたというより・・
距離を置くことになりまして・・・・
距離・・・・
あーっでもっスね
退部の理由はわかんないです！
これホント!!
・・・・

んなの一緒にいると
気まずいからに
決まってんだろっ!!
脱リア充
おめ!!
ちょっ
ちょっと・・
やめて
くださいよ!
おめ!
おめ!
わっしょい
わっしょい
先輩!・先輩!・
今の・・・・
聞きました!?!
これは・・・・
チャンスですぞ!!
キュピーーン
な・・何言って
んの!!
バカ!
ももにゃぱーえ

距離を置く・・か

確かに・・・・
二人とも練習中
落ち込んでるみたい
だったたな・・・・

これは・・・・
チャンスですぞ!!

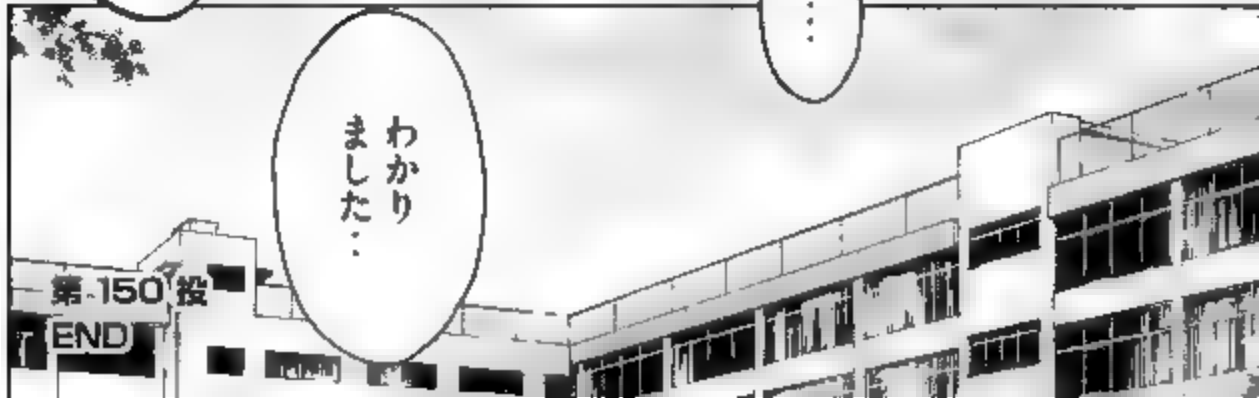
ったく
あの子は・・

チャンスとか・・
そんなの・

おう 萩原！
ウッス
寺田先生・・
おはよう
ございます・・・
ちょっと・・
速水の件でさ・・
今いいか？
はい・・・・

・・説得!?
ああ・・オレもいろいろ考えたんだが
やっぱり速水は水球部に必要だろ?
だから・・・
なんとかお前にお願い出来ないかと思ってな・・・・
あたしが・・・・
速水ちゃんを説得するんですか・・?

あの・・
でも・・・・あたし・・・・
萩原もやっぱ速水が必要だと思うだろ？
なっ⁉
確かに・・・・
つーかよ・・速水とハマジうまくいってねーって聞いたんだが・・
それで退部って・ホントなの？
・・
それは、よく知らないです・・・

仮にそうだとして二人の関係を修復なんてオレじゃ出来ねーし
わかるだろ？
！
ま・・
オレは速水が戻ってくれればなんでもいいからよ
その辺もろもろよろしく頼むわ
・・・・
わかりました・・
第150投
END

寺田先生が
速水ちゃんを
復帰させたいって・・!?

第151投 知りたくないよ・・

だ、だって‥‥
仕方ないじゃん‥

速水ちゃんは貴重な戦力なんだし

かはー

もーっ
あたしが言ってるのは
そういうことじゃ
ないですってば!

いいですか?

今のハマジは
フリーなんですよ?

チャンス到来
なんですよ?

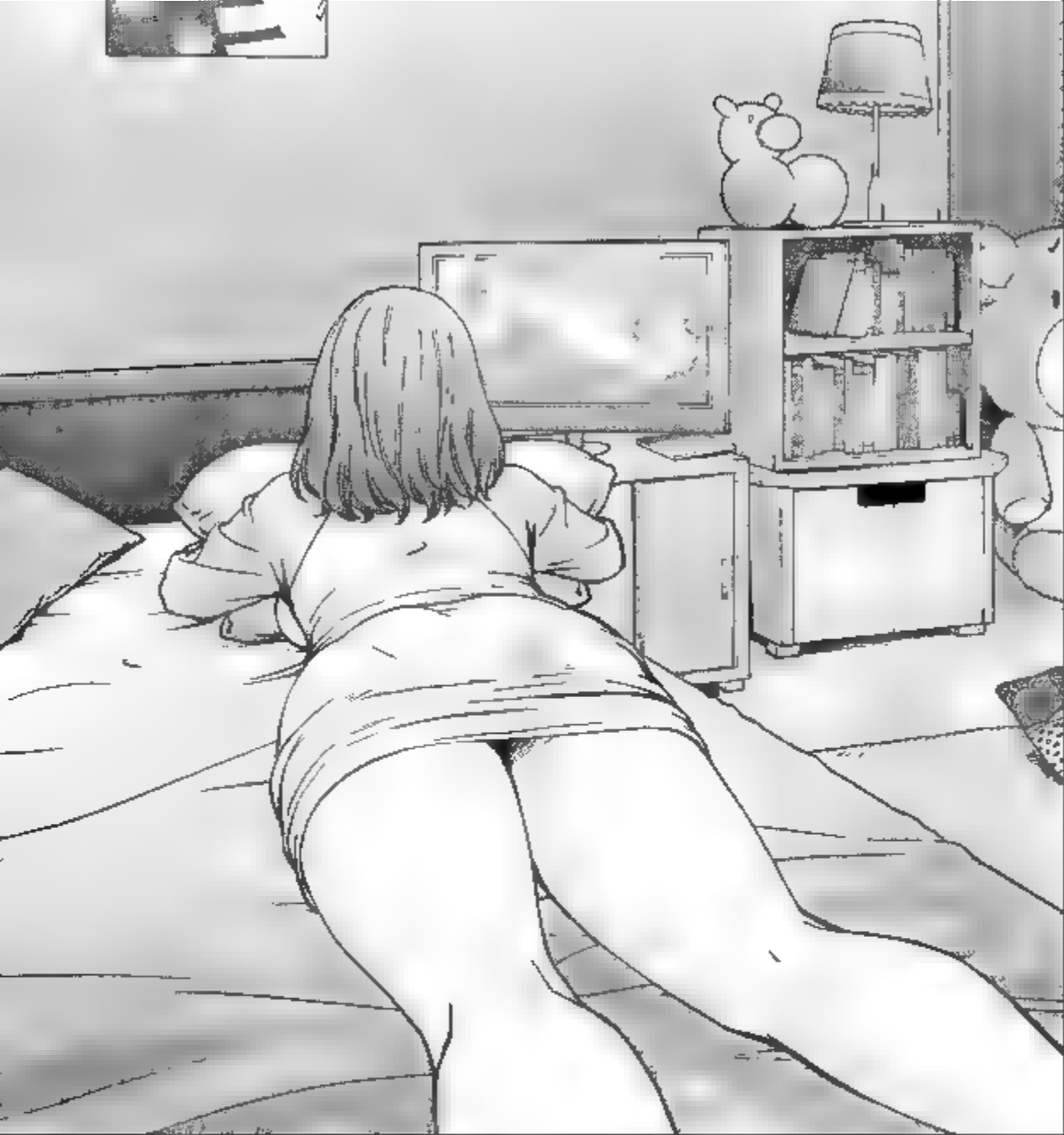
別れたんじゃなくて距離を置いただけだよ
同じですって！
それで退部したに決まってるんだし！
復帰させるってことは関係を修復させるってことですよ？
それを先輩がやるなんて・・
だから・・・別れたかどうかなんて
わかんないでしょ・・・・
そうだっ！説得してるフリだけしましょうよ!!
寺田先生にはムリでした♡って言っとけばいいっしょ
ガタッ
え・・
バカッ
そんなんでいいワケないでしょ!!!

あたしだって
なんとなく…
あの退部理由は
ハマジ君と何かあった
からなんだろうなって
思う…
今のハマジは
フリなんですよう
チャンス到来
なんですよう
チャンス
とか…
そういうことを
考えるのは
イヤだ…
彼女は水球部にとって
必要な選手…
今はそのことだけ
考えよう……!

速水ですか？
もう帰ったみたいですけど・・
あ・・そうなんだ ありがと・・・・
いえ
やだな・・
あたし あの子が帰ったって聞いてホッとしてる・・
だって・・やっぱり二人に何があったかなんて・・
知りたくないよ・・

ボッケ――――・・
・・・・
・・・ダメだなありゃ
ボー・・
ここんとこずっとあんな調子だぜ
一人って・・
こんなに寂しいもんなのか・・・・

ちょっと男子！サボってないで練習してよ
おっ 萩か・・
オレなんかよりボーイをどーにかしてくれよ
ボケー…
何度言ったってどうしようもねえ
ホラー先輩チャンスですよ今！
優しく声をかけてハマジを元気づけてあげましょうよ！
え・・・・
だってあの落ち込みよう見てくださいよ・・
先輩が優しくしたらあのバカすぐ速水ちゃんのことなんて忘れちゃいますって！
さあ早く!!
もう・・・篠崎は黙っててよ
だってー
あ・・・・
オラっ立てっボーイ!!
女ぐれーでいつまでたそがれてんだっつーの
でっ
チ、ポさらされてえのかっ!!

ハマジ君・・・・
ずっと落ち込んでるなぁ・・・・
やっぱり・・・・
なんとかしなくちゃ・・・・

ハマジ君…

見て見て！ハマジ君がボールを奪ったよ！
練習の成果が出てる!!
ちょっと落ち着きなよ千聖…ちゃんとビデオ撮れてる？
萩原先輩…？
頑張れ……頑張れハマジ君！
そこ！シュートチャンス!!
や、やった!!!
シュート決めた!!ねえ梅ちゃん見た？今の
わかったよ…もういちいちうるさいな千聖は…
…

!
……おはよ……

久しぶりだね・・
元気にしてた？
先輩・・・・
あ、あのね・
ちょっと速水ちゃんと二人で話がしたくて・・
お昼休み更衣室に来てもらえるかな・・

・・・・

わかりました・・

速水・・・・

ちゃん・・・?

まだ
来てないか・・

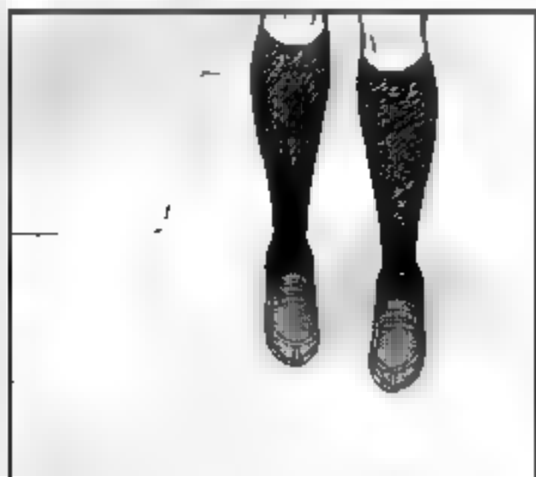
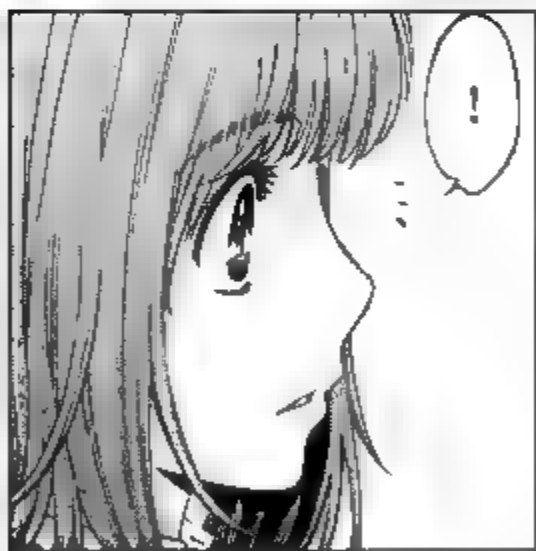
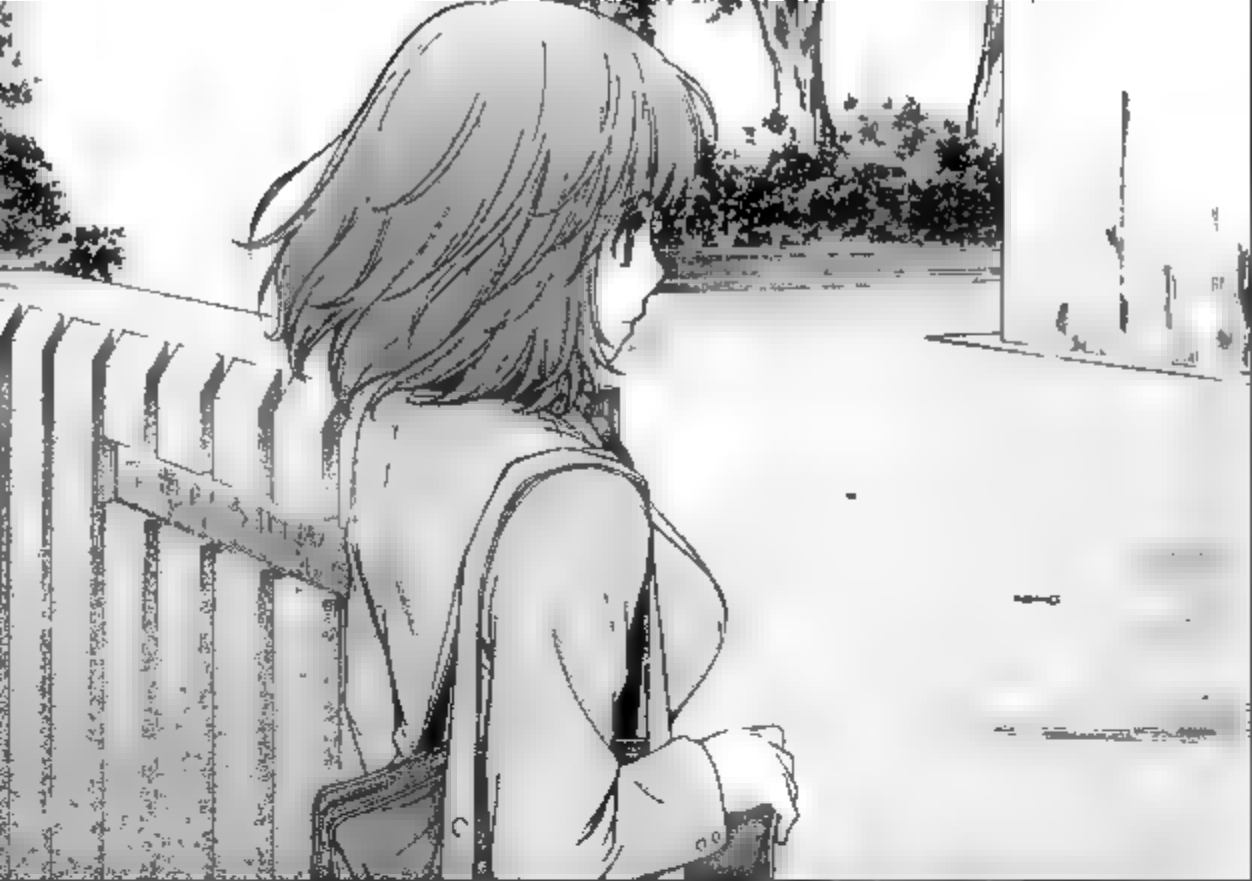
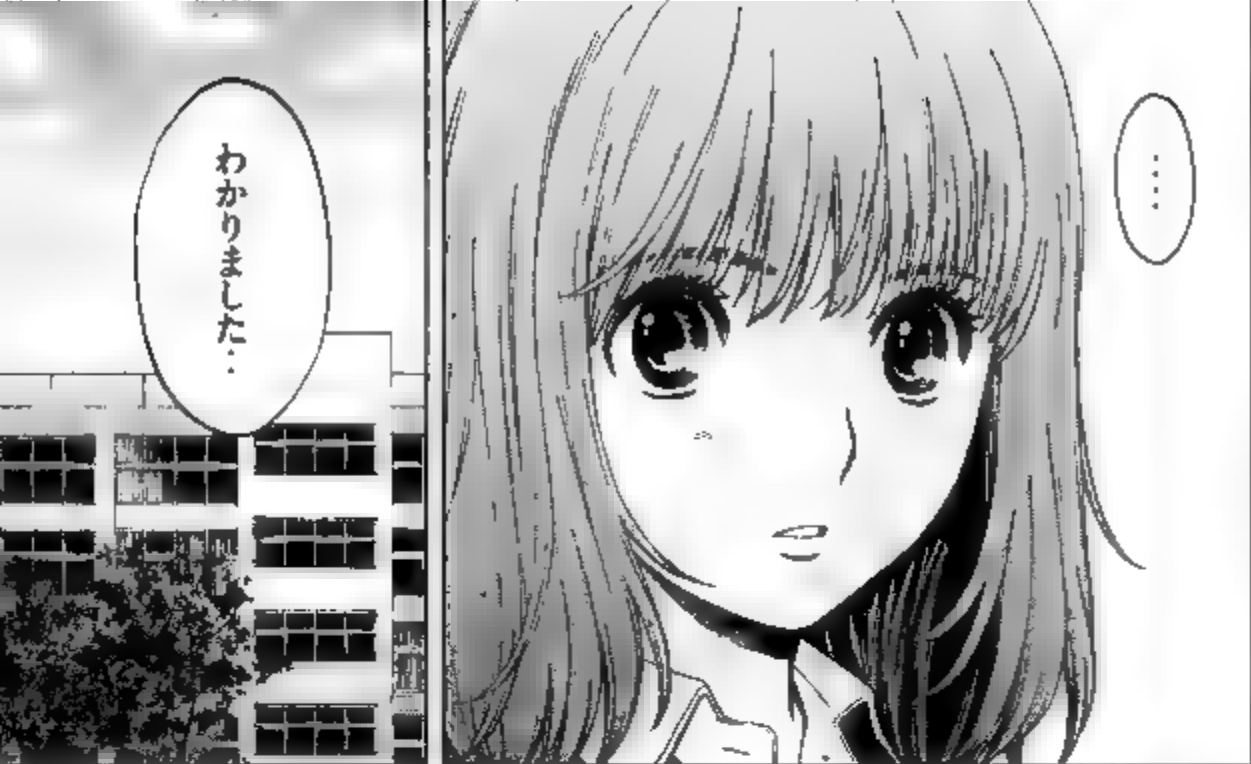
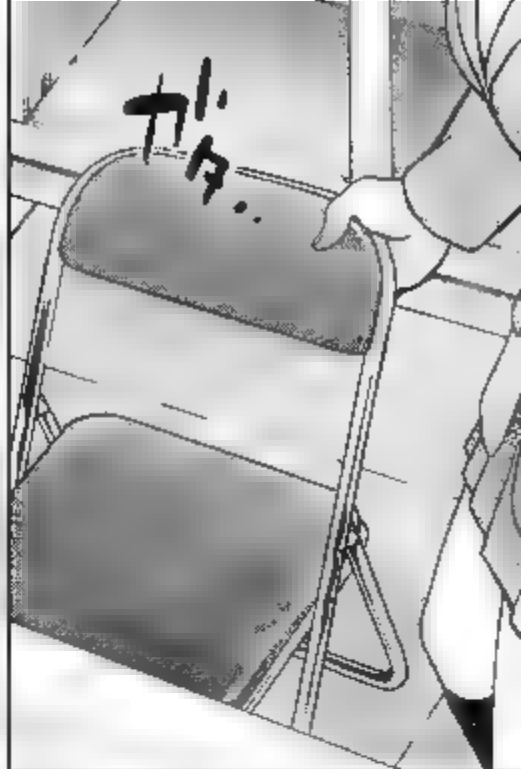
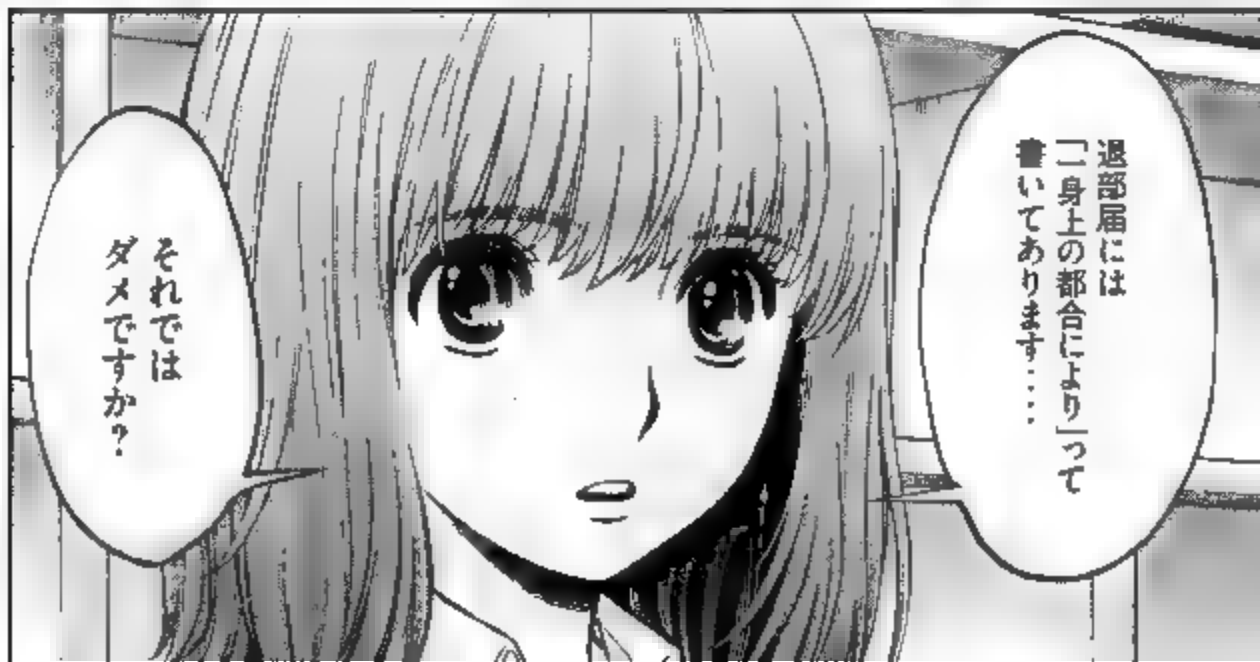
はーー!
ギシ
ガタ…
やだ…すごいドキドキしてる…
あたしは水球部のために…先輩として事情を聞くだけなんだから
落ち着け…落ち着け…
深呼吸…!!
スー
先輩……
はっ

お待たせしました
あ・速水ちゃんごめんね急に呼び出したりして
適当に座って……
はい……

逸水ちゃんが
急に来なく
なっちゃったから
みんな
寂しがっちゃって
ね・・・
あは
話って・・・
なんですか・・・？
・・・・・・
ゴクリ。
第151投 END

話って・・・・

あたしの退部のことですよね・・・・？

第152話 どう思ってるんですか？

どうして水球部を
辞めようと
思ったのかな・・？
退部届には
「一身上の都合により」って
書いてあります・・・・
それでは
ダメですか？

あ・・
でも・・その・・やっぱり・・・・
何か・・・・続けられなくなった理由でもあるのかなって・
理由・・・・
それは・・・・

……

ズズズー…ン

寺田先生とも話したんだけど・・

水球部としてはやっぱり速水ちゃんに戻ってきて欲しいなって思ってるの

あたしは・・・・
いろいろあって
ハマジ君とは距離を
置くことにしたんです
だから
水球部にも・・
すみません・・
わかった・・

やっぱり・・・・
ねえ
速水ちゃん・・
ハマジ君と
何があったの・・？
知りたい・・

キンコーン…ン…

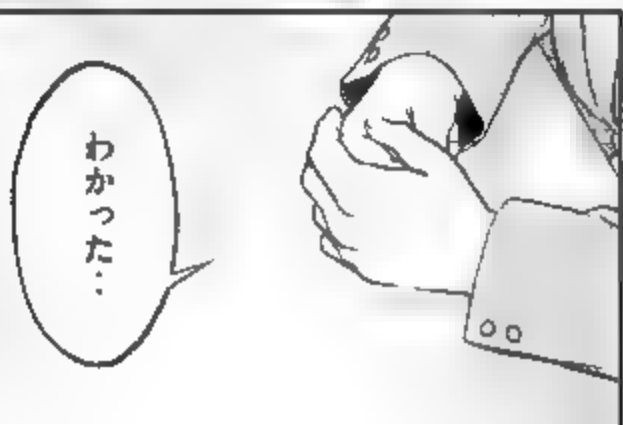
あっ・・

昼休み終わっちゃったね

時間取らせちゃってゴメン

いえ・・

ガタッ

寺田先生にはあたしからちゃんと話しとくから心配しないで

あー・・・・・
いい風・・・・・
なんだか
スッキリした・・
ハマジ君も速水ちゃんも
しばらく距離を置くだけで
また元に戻るのかもしれない・
・・
チャンス
ですよ！
違うんだよ
篠崎・・・
あたしは・・・ハマジ君が
幸せであれば それでいいの・・

先輩
今 水球部はどうですか？
ん？
みんな
頑張ってるよ
男子は相変わらず
ハマジ君イジリばっか
してるけどね・・・
あっ
こ・
ごめん
・・・
昨日・・・・
練習試合の
DVDを
観たんです・・

!?
ハマジ君がシュートを決めてました
そこに……先輩の声が入ってたんですけど
あの…
ちょっちょっと待って
せ、先輩は
ずっと…ハマジ君を応援してて……
そりゃあ後輩の応援くらいするけど

先輩は ハマジ君のこと
どう思ってるん ですか？
ど・・ どうって・・
他の先輩から 聞いたことが あります・・・・
萩原先輩は昔からずっと ハマジ君のことを 気にかけてたんですよね・・

先輩の本心が聞きたいです・・
・・・・
い・・いや・・だから・・・・
先輩はきっと・・
ハマジ君のことが・・・・

・・・・

うん・・
多分・・・・

あ・・あたしは
ハマジ君を・・
好きなんだと
思う・・・・

いつから・・・・
なんですか？
わからない・・・・
ハマジ君のことは
ずっと後輩としか
思ってなかったのに・・
だ・・だけど
二人の邪魔をする
つもりはないから・・
これは
絶対に・・・・
先輩・・・

多分
ハマジ君は
先輩のこと
今でも好きだと
思います・・・！
第152投 END

第15巻の予告です♥

ハマジを巡る三角関係は一体
どうなってしまうんでしょうか・・。
次巻では、篠崎の暗躍により
ハマジと萩原先輩が
急接近！どしゃぶりの雨で
濡れてしまった二人に何かが
起こりますよ！！
それにエッチで
おバカなお話も♥
なんと男子水球
部員・塩田が・・・

まだまだ続きます。さぁ、次ページへ！！

ツテなお店に
初潜入
彼女の雨宮を
満足させられなくて、
なかなかヤレない塩田が、
“プロの女性”にいろいろ
教えてもらっちゃいます♥
Presented by こばやしひよこ
ヤンマガKC
ハンツー×トラッシュ 15

※この物語はフィクションです。実在の人物・団体・出来事などとは、一切関係ありません。

※収録されている内容は、作品の執筆年代・執筆された状況を考慮し、コミックス発売当時のまま掲載しています。

ハンツー×トラッシュ(14)

2018年3月1日発行(01)

著　者　こばやしひよこ

発行者　森田浩章

発行所　株式会社　講談社
〒112-8001
東京都文京区音羽 2-12-21